

平成19年11月22日

平成19年

第11回教育委員会定例会会議録

大田区役所 教育委員会室

平成19年第11回教育委員会定例会会議録

平成19年11月22日午後2時00分大田区教育委員会定例会を開催した。

1 出席委員

渡 邊 盛 雄 委 員	委員長
高 山 美 智 子 委 員	委員長職務代理者
野 口 和 矩 委 員	
細 島 徳 明 委 員	教育長

計 4名

2 出席した職員

教育委員会事務局次長	佐 藤 喜美男
庶務課長	平 山 政 雄
教育委員会事務局施設担当課長	玉 川 一 二
学務課長（私学行政担当課長兼務）	清 水 耕 次
指導室長（教育センター所長兼務、 幼児教育センター所長兼務）	鈴 村 邦 夫
社会教育課長	柿 本 伸 二
大田図書館長	鈴 木 慶 三

計 7名

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条及び大田区教育委員会
会議規則第3条により、第11回大田区教育委員会定例会を招集した者は、
次のとおりである。

委員長 渡邊 盛雄

○委員長

ただいまから、平成19年第11回教育委員会定例会を開催する。

○委員長

これより審議に入る。本日の出席委員数は定足数である。よって会議は成立した。

(「異議なし」との声あり)

○委員長

会議録署名委員に野口委員を指名する。

日程第1 「教育長の報告事項」

○委員長

教育長から報告を求める。

○教育長

1 教育界の重要日誌から
(資料) 教育界の重要日誌11月分

7日、文科省が2006年度体力・運動能力調査の結果を公表した。年々低下傾向にあった児童生徒の運動能力だが、今回はその低下傾向のスピードが緩やかになったのが特徴である。

23日、安倍前首相の辞任以来休止していた教育再生会議が約1か月ぶりに総会を開催した。なお、教育再生会議については活動を再開し、年末には第3次報告を予定している。

24日、文科省が2007年度全国学力・学習状況調査の結果を公表した。結果の内容については、前回の協議会で報告したところである。大田区としては、区の数値、もちろん学校別数値も含めて公表せずという方針をとっている。

結果については、様々な新聞報道がされているが、重要なことは結果をきちんと分析・集約し、授業改善の資料として一人ひとりの教員に配付し、授業改善に結びつける。また、児童・生徒の指導に活用するということである。このことを徹底していきたい。

30日、中教審の教育課程部会が国語や算数・数学、理科など主要教科の授業時数を小学校で301時間、中学校で360時間増やすということで次期の学習指導要領の改定案を大筋で合意した。

2 学習指導要領の改訂内容について
(資料) 義務教育は時数、内容ともに増加へ

学習指導要領改訂の内容は大きく7本の柱にまとまっている。

(1) 経緯

これまでの経緯ということで、平成15年5月に文部科学大臣より諮問が行われ、中教審がこの間、第3期と第4期と検討を重ねてきた状況が触れられている。

(2) 教育の目的とこれまでの学習指導要領の改訂

昭和22年以来の学習指導要領の改訂について、簡単にその時々の教育の目的と改定内容をまとめている。

(3) 現行の学習指導要領の理念

現行の理念にある「生きる力」が、ますます重要になっているということを基本認識としている。今回の改訂にもその基本理念が引き継がれているということがポイントである。

(4) 子どもたちの現状と課題

子どもたちの学力と学習の状況を学力調査の結果を取り上げながら分析をしている。また子どもの心と体の状況として体力低下の問題などについて触れている。

(5) 課題の背景と原因

今回のまとめの特徴ともなっているが、一言で言うと「中教審・文科省は反省している」ということである。学習指導要領の理念には間違いはなかったが、それを実現するための具体的手立てが必ずしも十分でなかったと率直に記述をしている。具体的手立てが必ずしも十分でなかったことについて、①「生きる力」とは何かということについて、文科省と学校関係者や保護者、社会との間に十分な共通理解がなかった。②子どもの自主性を尊重するあまり、教師が指導を躊躇する状況があった。③指導や成績評価が難しいこともあって、各教科で知識・技能を活用する学習活動が十分に行われず、各教科と総合的な学習の時間との適切な役割分担と連携が十分でなかった。④知識・技能を活用する活用する学習活動を行うための授業時数が十分でなかった。⑤家庭や地域の教育力低下を踏まえた対応が十分でなかった。と反省している。

その上で、教師が子どもたちと向き合う時間の確保や効果的・効率的な指導のための条件整備が必要であると提言している。

(6) 学習指導要領改訂の基本的考え方

基本的な考え方として、①「生きる力」という理念の共有 ②基礎的、基本的知識・技能の習得 ③思考力・判断力・表現力等の育成 ④確かな学力を確保するために必要な授業時数の確保 ⑤学習意欲の向上や学習習慣の確立 ⑥豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実の6項目をあげている。

その中でも特に、2点目の基礎的、基本的知識・技能の習得を基盤として、思考力判断力の育成、学習意欲や学習習慣の確立、豊かな心や健やかな体の育成のため指導が重要と立体的な位置づけにしている。

(7) 教育課程の基本的枠組み

小中学校の教育課程の枠組みについては、配付した資料をご覧いただきたい。

(8) まとめ（教育内容に関する主な改善事項）

今回の改正で充実すべき重要事項として、①言語活動の充実 ②理数教育の充実 ③伝統や文化に関する教育の充実 ④道徳教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥小学校段階における外国語活動の6点をあげている。それに合わせて、社会の変化への対応の観点から教科を横断して改善すべき事項として7項目を明らかにしている。大田区としても、小中一貫校でやろうとしているテーマにも該当するものである。内容としては①情報教育 ②環境教育 ③ものづくり ④キャリア教育 ⑤食育 ⑥安全教育 ⑦心身の成長発達についての正しい理解である。

以上が指導要領の改訂となっている。なお、実施時期については、小学校は平成23年度、中学校は平成24年度、高校が平成25年度から実施予定となっている。

3 文科省の動き

(1) 子ども農山漁村交流プロジェクトの発足について

小学校高学年が農山漁村に1週間滞在して自然学習・体験学習に取り組む。これは文科省、農水省、総務省の連携事業である。文科省の狙いは、豊かな人間性と学習意欲、自立心の向上となっている。総務省の狙いは地域コミュニティの活性化である。来年度から、全都道府県各10校、計470校にてモデル事業を始める。食費以外は文科省の全額補助である。35モデル地区40か所に施設を建設し、そこでの活動を通してマニュアルづくりを進める。将来は拠点施設整備等も全国500か所程度で取り組んでいく予定である。2013年度には全国の小学校で実施する。

大田区でも自然体験の交流事業を強化しようと検討をしているが、このプロジェクトを見据えながら検討を進めていくことになる。

(2) 2006年度の問題行動調査の結果について

いじめの定義が変更になったため、小学校のいじめの認知件数が前年の1.2倍との報道がされている。これは、いじめの実態を比較的きちんと挙げるようになったということであるが、どこまで調査で把握できるかというところである。暴力行為については中学校では若干増であるが、小学校は全国的には1.7倍となっている。いずれにしてもこれは統計調査の結果であって、大事なことは、早期発見・早期対応、いかに全教員が意識を持って取り組むか、事実を客観的に把握し、きちんと対応していくことである。いたずらに数字に振り回されず、各学校現場において、しっかりと取り組んでいきたい。

○委員長

教育長の報告に質問、意見はないか。

(「なし」との声あり)

○委員長

それでは承認してよろしいか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長

承認する。

日程第2 「部課長からの報告事項」

○委員長

部課長からの報告を求める。

○庶務課長

平成19年度特別区人事委員会勧告の内容について説明する。

職員給与と民間給与はほぼ均衡していることから、給与改定については見送り、期末勤勉手当については民間との差が0.05ヶ月となっているため従来の4.45ヶ月から4.5ヶ月に引き上げる。また地域手当の支給割合を13%から14.5%に引き上げ、同等額の1.5%を給与月額から引き下げる。さらに給与カーブのフラット化ということで、I類、大卒初任給を2000円引き上げる。

新たな評価制度の導入、人材の採用チャンネルの多様化の検討などの提言をいただいている。現在、30日を目途に組合と調整中となっている。これらが決定すれば、教育委員会としても幼稚園教員の給与改定を行うことになる。

○施設担当課長

新宿小学校の校庭の芝生化の進捗状況について報告する。

新宿小学校には2つの校庭がある。今回は第1校庭の総面積2380㎡のうち2170㎡、面積比91%を芝生化する。12月中旬に工事契約をし、来年3月14日に竣工予定である。使用開始は、約1ヶ月の養生期間を経て4月中旬となる。

工事内容は、芝生の生育しやすい環境を整えるため、校庭の表層を15cm程掘下げ、透水管を7メートルごとに入れ排水性を高め、上に芝生の育成に適した改良土を敷き、ロール上に刈り取った芝を引きつめる。芝は日常的に子どもたちが踏みつけ、擦り切れるという環境に適したティフトンという種類を考えている。ティフトンは夏芝で春夏は緑がきれいであるが、秋から冬にかけてはどうしても枯れてしまう。1年中緑が維持されるように、毎年10月頃に冬芝の種をまくことにしている。この際、約1ヶ月程度の養生期間が必要となり、第1校庭の使用ができなくなる。

校庭の芝生の管理として、日常的に芝刈り作業がある。これについては、学校・保護者・緑に関心のある地域の方々による共同管理の仕組みを計画している。これまで、PTAの役員、地元自治・町会長、休日等に校庭を利用しているスポーツ団体の代表者の皆さんに芝生化の説明、管理についての協力を依頼しており好感触を得ている。これから4月に向けて、関係者と具体的な話を進めていく。

○学務課長

平成20年度新入学にかかる指定校変更および区域外就学について報告する。

近年一部の学校において、指定校変更や区外からの区域外就学申請が増大する傾向にある。各学校の施設規模に限界があることから、これらの申請に対する基本的対応を定めている。基本的考え方は、指定校変更については当該校の施設規模に応じ、その範囲において許可する。区域外就学については、原則許可しないとしている。指定校変更の対応については、将来の学校推計と施設規模面からそれぞれの学校毎に定めている。当該区域の児童・生徒のみの受入としているのは、山王小学校・久原小学校・矢口西小学校である。通学区域内の児童・生徒を入学させた上で、余裕があれば受入をするのは、梅田小学校・徳持小学校・千鳥小学校・池雪小学校・小池小学校・赤松小学校・大森第三中学校・東調布中学校・大森第六中学校である。その他の学校は従来どおりの扱いとする。なお、施設規模を超える申請があった場合は、抽選とする。

今後の日程は、就学通知を12月19日に発送し、1月5日から7日に指定校変更の受付を実施し、1月22日時点での申請状況を見て抽選をするか判断をする。

このことについては、12月21日号の区報にて区民に周知する。

○大田図書館長

1 図書館の休館について

(1) 大森東図書館

空調設備工事のため、休館日を12月13日から12月20日に変更する。また来年1月10日の休館日を開館するとともに、1月15日から2月15日を休館とする。1月15日から2月15日の休館期間中は、利用者は書架に入ることにはできないが、予約図書等の受付・貸出・返却業務等はスペースを確保して行う予定である。

(2) 蒲田駅前図書館

この施設は生活センターとの複合施設であり、施設の電気設備の点検が来年2月25日に実施される。そこで休館日を2月21日から2月25日に変更する。

(3) 区民への周知

区報・ホームページ・館内掲示等により区民に周知する。

2 (仮称)海苔資料館の名称の決定について

(仮称)海苔資料館については、来年度のオープンに向けて建設工事を進めているところであるが、その名称が決定したので報告する。名称は、「大森海苔のふるさと館」である。この名称には、大森の海苔が浅草海苔の発祥地であること、全国に広がっていった海苔産業のふるさとであることの意味合いが含まれている。名称の選定にあたっては、海苔資料館という目的が特定された施設であること、地元の海苔関係者の強い要望で設置となった経緯のあることから、地元の元海苔生産者、自治会・町会、海苔問屋の関係者に協議いただき、その意向を踏まえて行った。今後はこの名称を使用して海苔資料館のPRをしていく。なお、大森海苔ふるさと館の設置目的や内容を広く区民に周知するとともに関心をもっていただくため、シンボルマークの公募をする。

3 郷土博物館、特別展「川瀬巴水」の来場状況について

特別展「川瀬巴水」は、10月21日から12月2日、途中展示替えを行い前期と後期に分けて開催している。12月21日現在の来場者数は5518人となっており、昨年度の特別展の来場実績5050人を上回っている。また図録の販売数も1247冊と刷り増しをして入館者のご要望に応じている状況である。

○委員長

ただいまの報告に質問、意見はないか。

○高山委員

新宿小学校の校庭芝生化に伴い、水遣り等の管理はどうなるのか。

○施設担当課長

散水方法については、既に設置されている散水装置を活用する。今回の芝生化では、その散水装置にタイマーを付けて、夏休み等の長期休暇の際にも自動的に散水ができるようにしたいと考えている。

○野口委員

芝生化した校庭には、どのようにライン等を引くのか。

○施設担当課長

通常ラインを引く時に使用している石灰は芝に悪い影響を与える。そのため、卵の殻をすりつぶした粉を使用してラインを引くようになる。

○委員長

ほかに質問、意見はないか。
それでは承認してよろしいか。

(「異議なし」との声あり)

○委員長

承認する。

○委員長

これをもって、第11回教育委員会定例会を閉会する。

(午後2時47分閉会)